

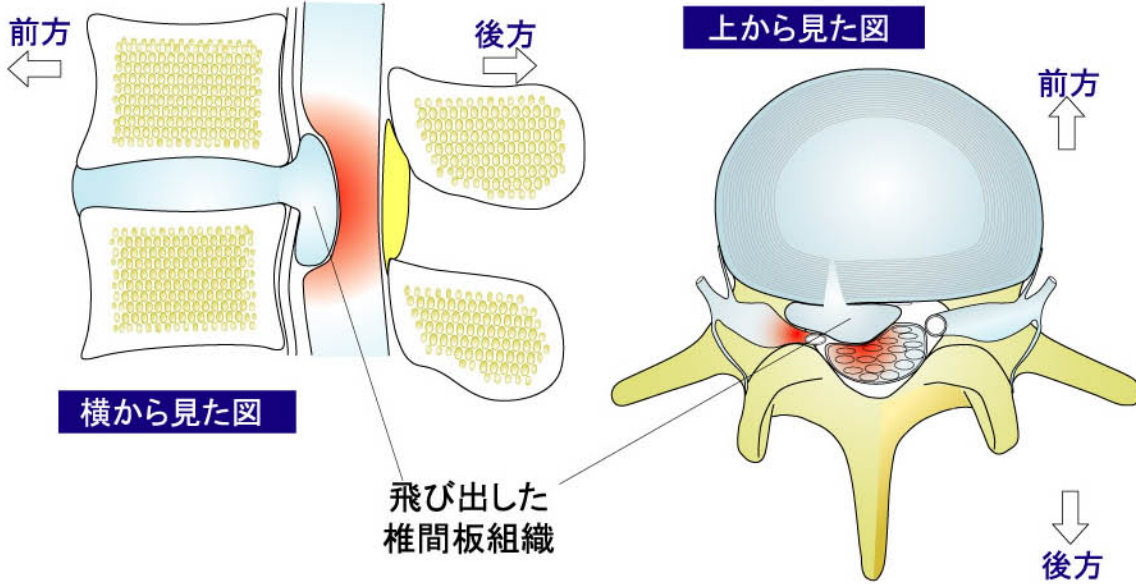
腰椎椎間板ヘルニア

椎間板は、骨と骨の間でクッションの役割をしていますが、その構造は線維輪という強い組織が外側にあり、その中にゼリー状の髄核という組織が入った、タイヤと似たものになっています。

線維輪の強度が失われると、内側からの圧力で線維輪が外側に膨らんだり、椎間板の組織が外へとび出したりします。そして馬尾や神経根を圧迫することにより、症状が発生するのが椎間板ヘルニアです。

老化により、線維輪がもろくなるのが主な原因ですが、若くても、外から強い力が働くと発生する場合があります。

主な症状は、腰痛と下肢のしびれや痛み、筋力低下などです。ひどい場合には排尿困難や便秘となることもあります。



ようつい 腰椎の構造

